

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヤギユ シンゴ 柳生 真吾	男	1968   2015	東京都	東京都	『山梨県人物・人材リスト2021』『柳生真吾のガーデニングはじめての一步』	産業	園芸家、タレント。父は俳優の柳生博。玉川大学農学部卒業後、花の生産農家で3年間修業し園芸の基礎を学ぶ。その後、北杜市大泉町にある手づくりの雑木林にレストランやギャラリーを併設した、ハケ岳倶楽部を運営し、代表を務める。1999年から8年間NHK「趣味の園芸」のメインキャスターを務める。(『柳生真吾のガーデニングはじめての一步』『山梨県人物・人材リスト2021』)	『柳生真吾のハケ岳だより』(日本放送出版、2004) 『柳生真吾のガーデニングはじめての一步』(家の光協会、2008) 『男のガーデニング入門』(角川書店、2006) 『柳生真吾のガーデニングはじめての一步』(家の光協会、2008) 『柳生真吾の雑木林はテーマパークだ!』(日経新聞社出版、2010)ほか	『柳生真吾のハケ岳だより』(日本放送出版、2004) 『柳生真吾のガーデニングはじめての一步』(家の光協会、2008) 『ハケ岳デイズ2014vol.7』(芸文社、2014p22~35) 『柳生真吾のハケ岳みどり通信』(山梨日日新聞、2008.1.19~2014.12.13) 『山梨日日新聞』(2015.5.827面) <a href="https://yatsugatake-club.com">https://yatsugatake-club.com</a> (2022.10.1確認)	2022/10/1	金田一
ヤギユ ヒロシ 柳生 博	男	1937   2022	茨城県	茨城県	『山梨県人物・人材リスト2021』	芸能・スポーツ	俳優。ハケ岳倶楽部オーナー、日本野鳥の会会長(2004~2019)、鳥根県立三瓶自然館名誉館長。北杜市ふるさと親善大使。(2017年~)俳優座養成所第9期生。生家は茨城の柳生一族に連なる旧家。テレビを中心に俳優を続けながら、1988年に自ら育てた雑木林の中(大泉村)にレストランとギャラリーを併設したハケ岳倶楽部を開く。(『山梨県人物・人材リスト2021』)	『ハケ岳倶楽部森と暮らす、森に学ぶ』【講談社、1994) 『柳生博鳥と語る』(べんぎん書房、2005) 『柳生博の庭園作法花鳥風月の里山』(小学館、2005) 『じいじの森』(清流出版、2012) 『森に暮らし、鳥になった人。』(東京ニュース通信社、2022)	『山梨県人物・人材リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p455~456) 『山梨日日新聞』2022.4.22、27面) 『ハケ岳倶楽部森と暮らす、森に学ぶ』(講談社、1994) <a href="https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/">https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/</a> (2022.10.1確認)	2022/10/1	金田一
ヤザキ キミヨ 矢崎 きみよ	女	1891   1979	白根町	南アルプス市	『愛育のあゆみ』	社会科学	白根町連合愛育会長、山梨県愛育連合会会長。甲府家庭裁判所家事調停員。1966年藍綬褒章受賞、1969年恩賜財団母子愛育総裁表彰、1970年勲五等瑞宝章受賞ほか。(『愛育のあゆみ』)		『愛育のあゆみ』(山梨県白根町母子愛育会、1990、顔写真あり) 山梨日日新聞(2019.2.27、17面、顔写真あり、2019.10.8、22面、顔写真あり)	2020/10/28	白根
ヤザキ ケンクウ 矢崎 源九郎	男	1921   1967	若草町	南アルプス市	『山梨百科事典』	言語文学	言語学者、北欧文学者、児童文学者、東京教育大学助教授。アンデルセン童話の翻訳と研究。(『山梨百科事典』)	『アンデルセン童話全集』(矢崎源九郎訳、講談社、1984) 『絵のない絵本』(アンデルセン著、矢崎源九郎訳、新潮社、1952) 『ニルスのふしぎな旅』(セルマ・ラゲレーヴ著、矢崎源九郎訳、偕成社、1953) 『グリムの昔話』(グリム兄弟著、矢崎源九郎共訳、童話館出版、2000) 『本・子ども・大人』(ポール・アザール著、矢崎源九郎共訳、紀伊国屋書店、1979、山梨県立図書館蔵) 『子どもに聞かせる世界の民話』(実業之日本社、2014)	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p792) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p235) 『日本児童文学大辞典第二巻』(大阪国際児童文学館、1994、p233) 『山梨日日新聞』(2018.8.8、17面)	2020/10/28	わかくさ

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヤザキ ミツコ 矢崎 光圀	男	1923   2004	若草村	南アルプス市	『成城法学』	社会科学	法学博士。 日本法哲学会理事長、大阪大学名誉教授、成城大学法学教授・部長。 〔成城法学〕	『法哲学』(筑摩書房、1975、山梨県立図書館蔵) 『法の概念』(ハーバート・ハート著、矢崎光圀訳、みすず書房、1976、北杜市立図書館蔵) 『近代法思想の展開』(有斐閣、1981、富士河口湖町立図書館蔵) 『日常生活の法構造』(みすず書房、1987、山梨県立図書館蔵)ほか	『成城法学』第48号・矢崎光圀先生古稀祝賀記念号(成城大学法学会、1995.3、p509、成城大学法学部ホームページで閲覧可) <a href="http://www.seijo-law.jp/faculty/public/info/hougaku/048.php">http://www.seijo-law.jp/faculty/public/info/hougaku/048.php</a> (2012.8.21確認) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』(日外アソシエーツ、2018、p235)	2020/10/28	わかかさ
ヤシロ エイタ 八代 英太	男	1937   	八代町	笛吹市	『山梨県人物・人材情報リスト2021』	社会科学	政治家 元衆議院議員 元テレビ司会者 本名:前島英三郎 〔山梨県人物・人材情報リスト2021〕	『八代英太の車いす郵政大臣奮戦記』(日本テレソフト、2001) 『負けてたまるか車椅子』(日本図書センター、2001)『八代英太の車椅子からみた障害者福祉』(エンパワメント研究所、2006)	『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p28~29) 『お父さんの車椅子』(前島由希著、講談社、2000)	2022/10/13	石和
ヤダ キミオ 矢田 喜美雄	男	1913   1990	増田村	笛吹市	『山梨県人物人材情報リスト2002』	社会科学 芸術・スポーツ	元走り高跳び選手、ベルリンオリンピック第5位入賞。 元・朝日新聞記者(下山事件担当) 〔山梨県人物人材情報リスト2002〕 朝日新聞に連載された藤沢恒夫の「新雪」は教職時代の矢田がモデルとなった。 〔翔んだ男矢田喜美雄〕	『謀殺下山事件』(講談社、1973)	『山梨県人物人材情報リスト2002』(日外アソシエーツ、2002、p369) 『翔んだ男矢田喜美雄』(「翔んだ男矢田喜美雄」刊行委員会、1991)	2014/11/27	竜王
ヤダ シゲル 矢田 茂	男	1917   1987	甲府市	甲府市	『著作権台帳』 『山梨県人物人材情報リスト2002』	社会科学 芸術・スポーツ	甲府一高卒 〔甲府一高同窓会誌〕 「新宿福祉の家」代表。 舞台プロデューサー、「ダン・ヤダ・ダンサーズ」主宰。 パリのムーランルージュで公演。 〔山梨県人物人材情報リスト2002〕	「私はこの街を愛している」作詞(作曲・市村俊幸、歌・森繁久弥、レコード『マイライフマイピアノ』収録)	『山梨県人物人材情報リスト2002』(日外アソシエーツ、2002、p369) 『映画技術』3巻13号(日本映画技術協会、1955.7、p26-27) 『毎日新聞夕刊』(1990.11.13、8面) 『山梨日日新聞』(1954.11.16) 『甲府一高同窓会誌』(甲府一高、p399) 『ネットワーク』(2005年5・6月号から2006年3・4月号まで「地平をひらくボランティアたち」5回連載) ほか	2014/11/27	竜王

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヤツシロ コマオ 八代 駒雄	男	1840   1897	穴山村	韮崎市	『韮崎市誌』『山梨百科事典』	哲学・宗教 社会科学 自然科学 医学	甲斐国一宮浅間神社禰宜・宮司、御嶽金桜神社宮司、信濃国一宮諏訪神社宮司などを歴任。また、県令藤村紫朗の信任を得て西山梨郡長・中巨摩郡長・南北都留郡長を歴任。(『韮崎市誌』) 甲府市長禰寺、都留市大神宮公園に碑がある。(『山梨百科事典』)		『韮崎市誌下巻』(韮崎市誌編集委員会、韮崎市、1979、p442) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p948)	2018/11/27	韮崎
ヤブウチ マサユキ 藪内 正幸	男	1940   2000	大阪府	大阪府	「藪内正幸美術館(北杜市)ホームページ」	芸術・スポーツ	画家 (『ヤブさん藪内正幸・動物画に生きた六十年』)	絵・挿絵 『コウモリ』(福音館書店、1983) 『日本の恐竜』(福音館書店、1988) ほか	『ヤブさん藪内正幸・動物画に生きた六十年』(たまたあ編集室、2004) 「藪内正幸美術館ホームページ」 <a href="https://yabuuchi-art.jp/">https://yabuuchi-art.jp/</a> (2023.2.22確認)	2023/2/22	はくしゅう
ヤマキ クマン 八巻 九萬	男	1852   1929	高根町	北杜市	『山梨百科事典』	社会科学	慶應義塾大学に学び、漢学と西洋学を修めた新知識人として知られた。 1879年山梨県議会議員 1881年山梨県議会議長 第一回衆議院議員総選挙に当選、大成会に属す。 晩年、東京に山梨共修社を創設、郷党子弟の指導にあたった。		『山梨百科事典』	2018/11/19	たかね
ヤマキ ヨシオ 八巻 与志夫	男	1954   	若草町	南アルプス市	『山梨県人物人材情報リスト2000』	歴史・地理	山梨県埋蔵文化財センター文化財主事、所長を歴任。 (『山梨県人物人材情報リスト2000』) (『毎日新聞』)	『古代甲斐国の謎』(新人物往来社、1985) 『戦国武将・武田信玄』(新人物往来社、1988) 『新府城と武田勝頼』(新人物往来社、2001) 『新府城の歴史学』(新人物往来社、2008) ほか	『山梨県人物人材情報リスト2000』(日外アソシエーツ、2000、p392) 『毎日新聞』(2012.3.28、27面)	2012/11/4	韮崎
ヤマキタ シゲリ 山北 しげり	男	1912   1994	甲府市	甲府市	「山梨日日新聞」 『やまわらべたち』	文学	童謡詩人。本名は山北茂利。大村主計に師事し「ぶんぶく茶釜」などを作詩。童謡集「小人の踊り」を刊行。(『山梨日日新聞』) 戦前より多くの童謡を作詩する。晩年を竜王町で過ごした。 (『山北しげり童謡集』)	『山北しげり童謡集』(竜王町、1995) 童謡「ぶんぶく茶釜」(中山晋平作曲、ビクターレコード)	「山梨日日新聞」(2000.2.22、11面、顔写真あり) 『やまわらべたち』(竹内秀秋著、ふじ音楽事務所、2003、p42~43)	2014/11/27	竜王

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヤマグチ スム 山口 進	男	1948   2022	三重県	三重県	『珍奇な昆虫』	自然科学・医学	コンピューター会社勤務を経て独立。昆虫植物写真家。 自然科学写真家協会会員 日本鱗翅学会会員 山梨県在住 40年以上にわたり「ジャポニカ学習帳」(ショウワノート)の表紙写真を撮影。 (『珍奇な昆虫』)	『砂漠の虫の水さがし』(福音館書店2000) 『米が育てたオオクワガタ』(岩崎書店2006) 『実物大巨大昆虫探検図鑑』(岩崎書店2008) 『カブトムシ山に帰る』(汐文社2013) ほか	『珍奇な昆虫』(光文社2017奥付) 山口進HP－花と虫の地球 <a href="http://susumuyamaguchi.com/">http://susumuyamaguchi.com/</a>	2022/2/20	すたま
ヤマグチ ヨシアキ 山口 好昭	男	1941 	上野原町	上野原市	『食と邑おこし』(文芸社)	産業	ふるさと長寿館館長 山梨県農村休暇邑ゆうゆう案内人 上野原市議会議員	『食と邑おこし』(文芸社、2005)『未来につなぐまちおこし長寿の里・山梨県上野原市の実践』(文芸社、2019)	『食と邑おこし』(文芸社)	2020/10/20	上野原
ヤマザキ テルトモ 山崎 照朝	男	1947 	大和村	甲州市	『無心の心』	芸術・スポーツ	第1回全日本空手道選手権大会優勝 (『無心の心』)	『無心の心』(スポーツライフ社、1980) 『山崎照朝の実戦空手』(池田書店、1984)	『無心の心』(裏表紙、顔写真あり) 『山崎照朝の実戦空手』(裏表紙、顔写真)	2012/8/21	大和
ヤマザキ ホウダイ 山崎 方代	男	1914   1985	右左口村	甲府市	『山崎方代全歌集』	文学	歌人。 1972年から晩年まで鎌倉で暮らした。 1975年「短歌」昭和49年9月号掲載 『めし』が第1回角川短歌愛読者賞受賞。 (『山崎方代展』) (『山梨県人物・人材リスト2023』)	『右左口』(短歌新聞社、1974) 『こおろぎ』(短歌新聞社、1980) 『青じその花』(かまくら春秋社、1981) 『首』(短歌新聞社、1981) 『迦葉』(不識書院、1985) 『山崎方代全歌集』(不識書院、1995)	『山梨県人物・人材リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p383～384) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p355～) 『山崎方代展』(山梨県立文学館、1994) 『山崎方代のうた』(大下一真著、短歌新聞社、2003) 『方代を読む』(現代短歌社、2012) 「方代研究」(山崎方代を語り継ぐ会、創刊号～) ほか	2023/2/23	県立

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヤマシ ススム 山地 進	男	1929 	富士吉田 市	富士吉田市	『山梨日日新聞』	産業	農政評論家。 内外食料経済研究会代表、山人会 会長。京都工芸繊維大学繊維学部 卒。1953年日本経済新聞社入社。 1969年編集委員兼論説委員、1984 年日経を定年退職。2006年学術文 化団体・山人会会長に就任。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2007』)	『再出発する日本農業』(永田農共 著、農業図書、1962)	『山梨県人物・人材情報リスト2007』 (日外アソシエーツ、2006、p343～ 344) 『山梨日日新聞』(2006.2.12、9面)	2014/11/25	富士吉田
ヤマシタ タカシ 山下 孝司	男	1957 	竜王町	甲斐市	『山梨県人物人材情報リスト 2000』	歴史・地 理	考古学研究者。 日本考古学協会会員。 (『山梨県人物人材情報リスト 2000』)	『戦国武将・武田信玄』(新人物往来 社、1988) 『新府城と武田勝頼』(新人物往来 社、2001) 『中世近世甲斐の社会と文化』(岩 田書院、2005) 『新府城の歴史学』(新人物往来社、 2008) 『戦国期の城と地域』(岩田書院、 2014) 『甲信越の名城を歩く山梨編』(吉川 弘文館、2016)ほか	『山梨県人物人材情報リスト2000』 (日外アソシエーツ、2000、p395)	2018/11/27	韮崎
ヤマダ コウゾウ 山田 耕三	男	1932 	京都府	京都府	『山梨百景』 『山鳴る』	芸術・ス ポーツ	3歳のとき、甲府へ転居、現在は甲 斐市在住。 1953年、第2回全国公務員レクリ エーション(山梨)絵画展で特選をは じめ、受賞多数。 1985～1991年、山梨県立美術館副 館長。 1991～1993年、山中湖高村美術館 館長。 1996年、旧竜王町北部公園モニュメ ント制作。 (『山梨百景』) 1997年、第2回NHK地域放送文化 賞受賞。 1998年、第1回山梨県文化賞・文化 功労章受章、第12回山人会前田晁 文化賞受賞。 2001年、櫛形町立春仙美術館館 長。 2002年、南アルプス市制施行により 同市立春仙美術館・白根桃源美術 館館長。 (『山鳴る』)	『山田耕三』(山梨日日新聞社、 1994) 『山梨百景』(山梨日日新聞社、 1997) 『スケッチ富士の表情100』(ART・ R、2006) 『春によし』(ART・R、2009) 『山鳴る』(ART・R、2013) ほか	『山梨百景』(p227～p230) 『ザ・やまなし』(山梨日日新聞社、 1997年12月号、p2～3) 『山鳴る』(略歴p248～251)	2014/11/27	竜王

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヤマダ 効子 山田 多賀市	男	1907   1990	長野県南 安曇野郡 三田村	長野県安曇野 市	『終焉の記』	文学	子守奉公・大工の従弟・瓦焼屋の従 弟・農家の雇人・土方・瓦焼職人・25 歳で実際運動から転向、文学作家 を志す(『終焉の記』) 登美(甲斐市竜地)に「耕土」の文学 碑あり『山梨の文学第20号』	『耕土』(文化山梨社、1947) 『農民』(山梨ふるさと文庫、1987) 『雑草』(東邦出版社、1971) 『実録小説北富士物語』(たいまつ 社、1977) 『終焉の記』(山梨ふるさと文庫、 1987)	山梨日日新聞(1999.12.7、12面) 『山梨の子ども文学風土記』(山梨 国語教育研究会、1987、p70) 『山梨の文学第14号』(山梨県立文 学館、1998、p27) 『資料と研究第五輯』(山梨県立文 学館、2000、p152) 『山梨の農民文学』(山梨県立文学 館、2003、p8) 『山梨の文学第20号』(山梨県立文 学館、2004、p35)	2018/11/18	双葉
ヤマダ トシコ 山田 十士子	女	1943 	山梨県	山梨県	『すいぎんちたのくってんかいね いねい』	文学	保育士 元双葉西保育園園長 (『すいぎんちたのくってんかいね いねい』)	『すいぎんちたのくってんかいね いねい』 (山田十士子、2009) 『漢字と私森羅万象編』(協立コミュ ニケーションズ、2021)	『山梨日日新聞』(2009.1.31.15面) 『山梨日日新聞』(2021.11.25.18面)	2018/11/18	双葉
ヤマテラ シンタロウ 山寺 仁太郎	男	1919   2016	韮崎市	韮崎市	『21世紀—山梨の100人』 「中央線」第73号	歴史・地 理	井筒屋醤油会長、山梨郷土研究会 会員、日本山岳会員、白鳳会顧問。 (『21世紀—山梨の100人』) 山岳信仰や山岳風習等の研究を続 けた県内民俗学の草分け的存在。 北巨摩地域の山岳のフィールド ワークを行い、自ら発行人も務めた 県内最古参の総合同人誌「中央線」 で1968年から86年まで甘利山と南 アルプス、茅ヶ岳などの自然と伝説 を掲載。 白鳳会会長は69年から4期8年務め た。県内外での登山だけでなく、植 生調査や登山道の安全確認などに 尽力。韮崎駅に北原白秋の歌碑を 建立した。 (「中央線」第73号) 2001年、野口賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト 2019』)	『五車』(五車会、1991) 『甘利山』(山梨日日新聞社、2001) 『中央線』(中央線社)ほか	『21世紀—山梨の100人』(山梨新報 社、2002、p176) 『中央線』第73号(中央線社、2016) 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p237)	2018/11/27	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヤマノ ケイゾウ 山野 慶蔵	男	1924   2010	双葉町	甲斐市	『甲州百人の顔』(株式会社豆州かわら版、1983)	社会科学	旧制韮崎中学卒業、太平物産社長 (『甲州百人の顔』)		『甲州百人の顔』(株式会社豆州かわら版、1983、p144-145)富士川町役場ホームページ ( <a href="https://www.town.fujikawa.yamana-shi.jp/mayor/aisatsu/img/H22.8.pdf">https://www.town.fujikawa.yamana-shi.jp/mayor/aisatsu/img/H22.8.pdf</a> 、2020.10.25確認)	2020/10/25	韮崎
ヤマモト イクオ 山本 育夫	男	1948 	山梨市	山梨市	『山梨県人物・人材情報リスト2015』	芸術・スポーツ 歴史・地理	美術ジャーナリスト、詩人、造形作家。 2003年、NPO法人“つなぐ”を結成。つなぐ理事長。 県立美術館学芸員を経て、ミュージアム・マガジン「DOME」、アートマガジン「L/R」各編集長。 (『山梨県人物・人材情報リスト2015』)		『山梨県人物・人材情報リスト2015』 (日外アソシエーツ、2014、p373.P399) 『MUHvol.41』(2009.10、p9) 『山梨日日新聞』(2012.11.25.2面)	2022/9/30	甲府
ヤマモト ケンイチ 山本 健一	男	1979 	山梨県	山梨県	『トレイルランナーヤマケンは笑う』	芸術・スポーツ	トレイルランナー、高校教諭。 信州大学時代はモーグル選手として活躍。そのトレーニングの一環として山を走っていたことがきっかけでトレイルランニングの世界へ。 2012年に日本国内で初めて開催された100マイルレース「ウルトラトレイル・マウントフジ(UTMF)」で日本人最高の3位に入賞。8月末のフランス「グランレイド・デ・ピレネー」では日本人初の優勝。 トレイルランナーとして国内外の数々のレースに挑戦している。 (『トレイルランナーヤマケンは笑う』)	『トレイルランナーヤマケンは笑う』 (カンゼン、2015)	『トレイルランナーヤマケンは笑う』 (カンゼン、2015) 『甲斐国ロングトレイル』(2021)	2022/11/30	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヤマモト シュウゴロウ 山本 周五郎	男	1903   1967	初狩村	大月市	『大月人物伝』 『韮崎の礎を築いた偉人たち～近世・近代を生き抜いた先人たちの行動～』 『山本周五郎』 『素顔の山本周五郎』 『郷土史にかがやく人々集合編』 『山梨県人物・人材情報リスト2019』 『山梨百科事典』	文学	小説家。 本名清水三十六(さとむ) 1907年初狩村の大水害により4歳で東京に転居。 小学校卒業後、東京市木挽町の山本周五郎質店(きねや)で丁稚奉公しながら学校に通う。 関東大震災後、地方新聞記者、雑誌記者などをする。 1926年文壇出世作となる「須磨寺附近」発表。 1943年「日本婦道記」で直木賞に推されたが辞退。以後も各賞を辞退。 (『大月人物伝』、『山梨県人物・人材情報リスト2011』)	『須磨寺付近』(文芸春秋、1926) 『小説日本婦道記』(講談社、1943) 『樅ノ木は残った』(日本経済新聞、1954) 『雨あがる』(同光社、1956) 『赤ひげ診療譚』(文芸春秋新社、1959) 『さぶ』(新潮社、1963) ほか 山梨を題材にした作品 『夜明けの辻』新潮社甲州篠原村(周五郎の母の出身地)出身の山県大武の思想にひかれる二人の若者の友情話。本名「清水三十六」署名あり 『明和絵暦』新潮社山県大武と明和事件を題材にした作品 『甲州小説集』実業之日本社全集未収録作品集六として刊行。『明和絵暦』 『米の武士道』『夜霧の半太郎』など収録。 『山彦乙女』朝日新聞社甲府勤番だった叔父の不可解な疾走が武田家再興とその遺産をめぐる謎に関わり、甘利の地で解き明かす物語。 『戦国少年記』鶴書房武田家滅亡後の甲州が舞台。武田家の再興を願って隠された財宝を探し求めていくという物語。	『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p291～294、顔写真あり) 『曲軒・山本周五郎の世界』(山梨県立文学館、1998) 『山梨日日新聞』(2003.6.21、13面) 『山本周五郎の世界』(新評社、1981) 『韮崎の礎を築いた偉人たち～近世・近代を生き抜いた先人たちの行動～』 『韮崎ふるさと偉人研究会 // 編2016.3P.30 『山梨「人物」博物館甲州を生きた273人』江宮隆之 // 編著丸山学芸園P.203 『郷土史にかがやく人々集合編』[甲府]青少年のための山梨県民会議P.419 『山梨県人物・人材情報リスト2019』日外アソシエーツ株式会社 // 編集日外アソシエーツ(制作)P.361 『山本周五郎』尾崎秀樹 // 編集至文堂 『素顔の山本周五郎』木村久選典 // 著新潮社 『山梨百科事典』山梨日日新聞社 // 編集増補改訂版山梨日日新聞社P.1018 一般社団法人韮崎市観光協会ホームページ ( <a href="https://www.nirasaki-kankou.jp/#header-nav">https://www.nirasaki-kankou.jp/#header-nav</a> ) 2023.3.1確認 韮崎市地域情報センター ( <a href="http://nirasaki.info/heiwakannon/">http://nirasaki.info/heiwakannon/</a> ) 2020.10.22確認	2023/3/1	大月 韮崎
ヤマモト タケハル 山本 文晴	男	1925   2011	河口村	富士河口湖町	『僕のそばには、いつも音楽と感動と愛のときめきがあった』	芸術・スポーツ	作曲家の古賀政男に師事し、ギター演奏により古賀メロディの普及に貢献。 女優山本富士子の夫。 女優山本富士子の夫。 第48回日本レコード大賞功労賞受賞。 (『僕のそばには、いつも音楽と感動と愛のときめきがあった』)	『コードから入るギター独習』(全音楽譜出版) 『生誕百年記念ギターでつまびく古賀政男110名曲集我が心の歌』(全音楽譜出版) 『僕のそばには、いつも音楽と感動と愛のときめきがあった』(ワン・ツー・ワン・プロダクツ、2006、奥付)	『僕のそばには、いつも音楽と感動と愛のときめきがあった』(ワン・ツー・ワン・プロダクツ、2006、奥付)	2012/8/16	富士河口湖

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヤマモト チスギ 山本 千杉	男	1929 	高根町	北杜市	『逸見筋の歳時記・方言』 『日本の神話-古事記より』	歴史・地理 言語	1929年、代々神職の家に生まれる。 1948年、山梨師範学校卒業後、県内小中学校で教鞭をとり1989年退職。 高根町郷土研究会員、高根町社会教育委員、高根町文化財審議委員などを務め、現在、蔵原諏訪神社宮司。 (『逸見筋の歳時記・方言』『日本の神話-古事記より』)	『甲斐国志にみる高根町』(小宮山プリント社、1993) 『古事記に現れる「神名要覧」』(小宮山プリント社、1994) 『逸見筋の歳時記・方言』(小宮山プリント社、1997) 『高根町内神社とまつりごと』(小宮山プリント社、2007) 『日本の神々』(小宮山プリント社、2007) 『日本の神話-古事記より』(小宮山プリント社、2010) ほか	『逸見筋の歳時記・方言』(山本千杉編、小宮山プリント、1997) 『日本の神話-古事記より』(山本千杉著、小宮山プリント社、2010、著者略歴に顔写真あり)	2012/8/3	たかね
ヤマモト ミハ 山本 美香	女	1967   2012	都留市	都留市	『山本美香という生き方』	図書館・情報	都留文科大学卒業後、CS放送局の記者、ディレクターを経て1996年から独立系通信社ジャパンプレスに所属。世界各地の紛争地、米国同時多発テロ戦時下のアフガニスタン、イラク戦争等を取材、リポート。大学非常勤講師として、また講演活動等で活躍。2012年8月20日、シリア内戦の取材中、銃撃を受け殉職。 ポーン・上田記念国際記者賞特別賞、都留市市民栄誉賞受賞。(『山本美香という生き方』)	『匿されしアジア』(共著、風媒社、1996) 『中継されなかったバグダッド』(小学館、2003) 『ほくの村は戦場だった』(マガジンハウス、2006) 『戦争を取材する』(講談社、2011) 『山本美香という生き方』(日本テレビ放送網、2012) 『山本美香が伝えたかったこと』(山梨日日新聞社、2014) 『これから戦場に向かいます』(ポプラ社、2016)『ザ・ミッション』(早稲田大学出版部、2013)『戦争の教室』(共著、月曜社、2014)	『山本美香という生き方』(日本テレビ放送網、2012)	2020/10/10	都留
ヤマモト ユウスケ 山本 裕輔	男	1982 	山梨県	山梨県	『めぐる日本のモノづくり52』 『印伝の山本』HP	芸術・スポーツ	1982年生まれ。甲州印伝工芸士。中学生のころ日本唯一の甲州印伝の伝統工芸士であった父からの影響を受け、この道を目指す。 (『めぐる日本のモノづくり52』) 2018年甲州印伝伝統工芸士(総合部門)No.507802称号取得。 2017年『日本伝統工芸士会会長賞』 2018年『全国中小企業団体中央会会長賞』 2020年『関東伝統工芸士会長賞』 2020年『第45回全国伝統的工芸品公募展』にて『若手奨励賞』 2022年『関東伝統工芸士会長賞』 数々のゲーム・アニメなどのコラボ商品を開発し、新たな客層へのアプローチに成功した。 (『印伝の山本』HP)		『めぐる日本のモノづくり52』(美術出版社、2017、P96~99) 「印伝の山本」 <a href="http://www.yamamoto-inden.com/">http://www.yamamoto-inden.com/</a> (工芸士紹介、2022.9.13確認) 「日本の伝統工芸士」 <a href="http://www.kougeishi.jp/index.html">http://www.kougeishi.jp/index.html</a> (一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会、2022.9.13確認)	2022.9.30	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ユウ ヒカル 優 ひかる	女	不詳	塩山市	甲州市	『ザ・タカラヅカ』 『HandyTakarazukaOtom e月組』	芸術・ス ポーツ	宝塚音楽学校95期生宝塚歌劇団月 組(『ザ・タカラヅカ』)		『ザ・タカラヅカ』(阪急コミュニケー ションズ、2011、p51)『HandyTaka razukaOtomeme月組』(阪急コミュニ ケーションズ、2010、p77) 山梨日日新聞2009.3.318面	2016/11/30	塩山
ユキエ ナホミ 雪江 なほみ	女	1941 	甲府市	甲府市	『山梨現代美術の軌跡』	芸術・ス ポーツ	工芸家、ジュエルアート作家。 九人展事務局長。 「ジュエルスタンド」を考案。 甲府盆地ナイトツアーを考える会に 参加。 (『山梨現代美術の軌跡』) 1995年、JJAジュエリーコンテスト 95にて、通産産業省生活産業局長 賞受賞。 (「ジュエルステンドアトリエ雪江」)		『山梨現代美術の軌跡』(現代美術 「こうふ展」実行委員会・甲府教育 委員会、2005、p18) 「ジュエルステンドアトリエ雪江」 http://www5.nns.ne.jp/~jewel.staine d//((2022.9.13確認)	2022/9/30	甲府
ユキ マリ 柚木 真理	女	不詳	東京都	東京都	『父さん、ぼく面倒みきれませ ん。』	文学	大学で国文学・民俗学を学び、昔話 の研究書を2冊著す。 小学校・養護学校教員、山梨県史 や富士吉田市史等の編集専門調査 員(民俗編)をつとめる。 『にいちゃん、ぼく反省しきれませ ん。』は第10回読書感想画中央コン クールの指定図書になる。 清里高原在住。 (『父さん、ぼく面倒みきれませ ん。』)	『にいちゃん、ぼく反省しきれませ ん。』(ポプラ社、1998) 『父さん、ぼく面倒みきれません。』 (新風舎、2005)	『山梨日日新聞』(2005.2.27、13面) 柚木真理のホームページ http://ameblo.jp/hoyurican/ (2012/8/3確認)	2012/8/3	たかね
ヨウチ カナメ 横内 要	男	1908   1989	韮崎市	韮崎市	『甲州百人の顔』(株式会社豆 州かわら版、1983)、『韮崎市 65年のあゆみ』 (https://www.city.nirasaki.lg.j p/material/files/group/4/28- 29p.pdf、2020.10.25確認)	社会科学	韮崎市長(第2代から第6代)、韮崎 紡績機社長、山梨県議会議員(2期) 同議長を歴任。勲三等瑞宝章、韮 崎市名誉市民(『甲州百人の顔』)		『甲州百人の顔』(株式会社豆州か わら版、1983、p150-151)、『韮崎市 65年のあゆみ』 (https://www.city.nirasaki.lg.jp/mat erial/files/group/4/28-29p.pdf、 2020.10.25確認)『山梨日日新聞』 (1989.5.1、15面、顔写真あり、 1989.12.30、16面、顔写真あり)	2020/10/25	韮崎
ヨコセ ノブコ 横瀬 信子	女	1948 	富士吉田 市	富士吉田市	山梨日日新聞「やまなし文学 賞」	文学	『笹こだま』同人発行 やまなし文学賞受賞 銅版画家 (山梨日日新聞)	『笹こだま』『優しい雲』(山梨日日新 聞社2002)『大きな大きなおんなの 子』(上崎美恵子/著横瀬信子/絵金 の星社)	山梨日日新聞 2013.03.112面 1996.10.2717面 1994.10.65面 山梨文芸の研究(白倉一由/著山梨 ふるさと文庫2009)	2016/11/30	塩山

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヨコモリ タクミ 横森 巧	男	1942 	祝村	甲州市	『たかがサッカーされどサッカー』	芸術・スポーツ	日本体育大学卒業後、高校体育教師となる。以降、韮崎工業高校、都留高校、谷村工業高校、韮崎高校を歴任。 1973年から1986年まで韮崎高校サッカー部監督を務め、インターハイ・高校選手権にて活躍。その後高体連事務局、韮崎工業高校を経て2005年より山梨学院高校サッカー部の監督・総監督として指導。2010年全国高校サッカー優勝。 (『たかがサッカーされどサッカー』) 平成22年韮崎市民栄誉賞受賞。 (「韮崎市」ホームページ) 2018年全国高校総体優勝。 (「山梨日日新聞」)	『たかがサッカーされどサッカー』 (山梨日日新聞社、2017) 『たかがサッカーされどサッカー』 (山梨日日新聞社、2017)	『たかがサッカーされどサッカー』 (山梨日日新聞社、2017) 「山梨日日新聞」(2018.8.14、25面) 「韮崎市」ホームページ <a href="http://www.city.nirsaki.lg.jp/">http://www.city.nirsaki.lg.jp/</a> (2018/11/27確認)	2018/11/27	韮崎
ヨコモリ トヨ 横森 豊雄	男	1952 	韮崎市	韮崎市	『山梨県人物・人材情報リスト2019』	社会科学	英国スターリング大学客員教授、専修大学教授、長崎県立大学教授を経て、2004年から宮城大学事業構想学部教授(『山梨県人物・人材情報リスト2019』)	『街づくりマーケティングの国際比較』(共著)(同文館出版、1998)『英国の中心市街地活性化タウンセンターマネジメントの活用』(同文館出版、2001)『流通の構造変動と課題ヨーロッパと日本の流通』(白桃書房、2002)『失敗に学ぶ中心市街地活性化英国のコンパクトなまちづくりと日本の先進事例』(学芸出版社、2008)	『山梨県人物・人材情報リスト2019』 (日外アソシエーツ、2018、p238)	2020/10/25	韮崎
ヨコヤマ アキサウ 横山 昭作	男	1927 	韮崎市	韮崎市	『山梨県人物人材情報リスト2011』	社会科学 文学	随筆家。 県内公立学校勤務。1953年から成城学園に勤務。同初等校長・幼稚園園長を歴任。NHK学校放送企画委員。日本私立小学校常任連合会常任理事。山人会理事。 俳誌「黄鐘」同人。 (『山梨県人物人材情報リスト2011』)	『四幕の島』(新生社、1983) 『遠い花火』(千代田永田書房、1988) 『花は葉に』(大成出版社1995)	『山梨県人物人材情報リスト2011』 (日外アソシエーツ、2010、p472)	2012/11/4	韮崎
ヨシイ トキエ 吉井 ときゑ	女	1922   1998	甲府市	甲府市	『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』	文学	歌人。 伊藤生更に師事。 「見たまま、感じたまををぞうさもない言葉で表現する」などの言葉を具現した。 (『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』)	『俱会一処』(吉井とときゑ、1993)	『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p49)	2022/9/30	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヨシオカ ジュンサク 吉岡 順作	男	1864   1944	徳条村	笛吹市	『春日居町誌』 『山梨百科事典』 『郷土史にかがやく人々第17集』 『山梨県人物・人材情報リスト2021』	自然科学・医学	医師(地方病・日本住血吸虫病の研究)。 1864年徳条村(現・笛吹市春日居町)の医家に生まれ、徽典館(山梨大学)医学部卒。 1888年石和村へ吉岡医院を開業。 1897年水腫張満の患者「杉山なか」の死体解剖を盛岩寺(清田村向町)で実現させた。山梨県での献体第1号ともなる。この解剖で虫卵は発見したが、原虫は明らかにできなかった。 1910年地方病予防予報の論文を国家医学雑誌に発表。 (『郷土史にかがやく人々第17集』、 『山梨百科事典』、『春日居町誌』)		『春日居町誌』(春日居町、1988、p1337~1353、顔写真あり) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p1036~1037) 『郷土史にかがやく人々第17集』(青少年のための山梨県民会議、1989、p1~30、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2021』(日外アソシエーツ、2020、p465)	2022/11/10	春日居
ヨシカワ ユキオ 吉川 行雄	男	1907   1937	大原村	大月市	『月夜の詩人吉川行雄』	文学	童謡詩人。 14歳の時、ポリオにより足が不自由となる。 1924年「赤い鳥」等に作品が入選。 1930年北原白秋門下の雑誌「チチノキ」同人。 数多くの月の詩を残し「月夜の詩人」と呼ばれた。 (『月夜の詩人吉川行雄』)	『郭公啼くころ』(吉川行雄、1927) 『ロビン』(発行所不明、1927、『月夜の詩人吉川行雄』収録) ほか	『月夜の詩人吉川行雄』(てらいんく、2007) 『山梨日日新聞』(2007.8.29、10面、顔写真あり) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p295~299、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p473)	2018/11/25	大月
ヨシザワ ヤスミ 吉沢 やすみ	男	1950 	山梨市	山梨市	『パパとゆっちゃん』	芸術・スポーツ	漫画家 1970年『週刊少年ジャンプ』(集英社)で『ど根性ガエル』でデビュー。ベストセラーになる。 (『パパとゆっちゃん』単行本未収録作品集)	『ど根性ガエル』(集英社、1995) ほか	『パパとゆっちゃん』(ど根性クラブ、2010.5、奥付)	2014/12/12	山梨
ヨシダ シゲオ 依田 茂夫	男	1933 	甲府市	甲府市	『青春グラフィティ』	文学	作家。 1983年「笹文学会」へ入会、創作活動始める。 (『青春グラフィティ』) 『笹』編集人。 (郷土雑誌『笹』)	『青春グラフィティ』(笹文学会、2002) 『花嫁の父』(笹文学会、2002) 『炎暑』(笹文学会、1993) ほか	『青春グラフィティ』(笹文学会、2002、奥付に著者略歴あり) 郷土雑誌『笹』(笹文学会、年刊)	2022/9/30	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヨダ トオル 依田 徹	男	1977 	若草町	南アルプス市	『盆栽』	産業	東京藝術大学大学院美術研究科芸術学専攻、博士後期課程修了。美術博士。さいたま市大宮盆栽美術館学芸員を経て、現在は遠山記念館学芸員。専門は日本近代美術史、茶道史。『近代の「美術」と茶の湯』により、第24回茶道文化学術奨励賞を受賞。(『盆栽』)	『女性と茶の湯ものがたり』(淡交社、2016)『茶を好んだ人』(淡交社、2016)『盆栽』(KADOKAWA、2015)『近代茶人の肖像』(淡交社、2015)『盆栽の誕生』(大修館書店、2014)『近代の「美術」と茶の湯』(思文閣出版、2013)『皇室と茶の湯』(淡交社、2019)『マボロシの茶道具』(淡交社、2019)	「山梨日日新聞」(2014.8.12、13面、2014.11.19、14面、2015.3.8、9面、2015.4.25、12面、顔写真あり、2015.5.23、19面、2015.6.27、13面、2015.7.25、12面、2015.8.22、12面、2015.9.26、16面、2015.11.28、16面、2015.12.26、12面、2016.1.16、12面)	2020/10/28	わかくさ
ヨネザワ ユキオ 米沢 幸男	男	1932 	身延町	身延町	『少年オルフェ』	文学	日本大学法学部卒業。1962年、長編童話『少年オルフェ』で第3回講談社児童文学新人賞を受賞。1965年、NHKで『少年オルフェ』がドラマ化される。1972年、NHKで再びドラマ化。1976年、俳句「乳母車花野をゆくや蝶ふえて」で、俳人協会全国俳句大会で特選となる。(『少年オルフェ』)	『少年オルフェ』(講談社、1981)	『少年オルフェ』(奥付)	2014/12/12	身延
ヨネミツ タツヒロ 米満 達弘	男	1986 	富士吉田市	富士吉田市	『山梨県人物・人材情報リスト2013』 「広報ふじよしだ」	芸術・スポーツ	レスリング選手(フリースタイル)。韮崎工時代は全国高校グレコローマン選手権、国体グレコローマンで優勝。拓殖大学に進み、2006年全国日本選手権フリースタイル66キロ級2位。2007年年全日本学生選手権で優勝。2008年世界学生選手権フリースタイル66キロ級で優勝した他、全日本選手権で初優勝。2009年、2010年世界選手権に出場。2012年ロンドン五輪フリースタイル66キロ級で金メダル獲得。同年「富士吉田市民文化スポーツ特別栄誉賞」受賞。身長169cm、リーチ184cm。(『山梨県人物・人材情報リスト2013』)		『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p477～478) 「山梨日日新聞」(2012.8.13、21面) 「広報ふじよしだ」(2012年9月号、表紙～3p) 「MAMOR(マモル)」(2013年3月号、p10～13)	2014/11/25	富士吉田
ヨネヤマ アイシ 米山 愛紫	男	1906   1973	黒駒村	笛吹市	『こんなひとがいた。東八メモリーズ』 『武田節米山愛紫歌謡集』	芸術・スポーツ	作詞家。本名、直照(ナオテル)。高校・中学・小学校の校歌、社歌、団体歌、音頭小唄を数多く手掛けた。代表作は「武田節」。笛吹市御坂町上黒駒に武田節詩碑が建立されている。(『こんなひとがいた。東八メモリーズ』) (『御坂町誌』)		『こんなひとがいた。東八メモリーズ』(東八代広域行政事務組合、2002、p269-277) 『御坂町誌』(御坂町役場、1971、p1718、p1808～p1810) 『武田節米山愛紫歌謡集』(甲府ライオンズクラブ、1975)	2020/9/27	御坂

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヨネヤマ キミヒロ 米山 公啓	男	1952 	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材リスト2023』 米山公啓オフィシャルウェブサイト	自然科学・医学 文学	作家、医師。 神経内科学専攻。医学博士。 (『山梨県人物・人材リスト2023』)	『すべてがうまくいく8割行動術』(ソフトバンククリエイティブ、2006) 『頭のいい人の時間攻略法』(日本実業出版社、2007) 『新老人論』(アスキー、2007) 『医療格差の時代』(筑摩書房、2008) 『健康偽装』(ビジネス社、2008) 『AI時代に頭がいいとはどういうことか』(青春出版社、2018) 『看取り医独庵』(小学館、2021) ※根津潤太郎名義 ほか	『山梨県人物・人材リスト2023』(日外アソシエーツ、2022、p389～390、495) 『山梨日日新聞』(2004.8.29、5面、顔写真あり、2007.8.29、2面、顔写真あり) 米山公啓オフィシャルウェブサイト <a href="http://yoneyamakimihiro.main.jp/">http://yoneyamakimihiro.main.jp/</a> (2023.2.23確認)	2023/2/23	県立
ヨネヤマ ホクアン 米山 朴庵	男	1864   1928	境村	都留市	『都留の今昔』	芸術・スポーツ	本名米山登 滝和亭の弟子 (『都留の今昔』)		『都留の今昔』(都留市老人クラブ連合会、1978、p87～89)	2012/8/9	都留
ヨネヤマ ママコ 米山 曼舞子	女	1935 	身延町	身延町	『山梨県人物・人材情報リスト2011』 『砂漠にコスモスは咲かない』	芸術・スポーツ	東京教育大学体育学部卒。 1958年、NHK「私はバック」出演。 1960年渡米後、11年間放浪。日生上人に「十牛図」を説かれ「禪トマイム」の道へ。米国各地で大学講師を務める。 1981年、セリフ入り舞台で「ボルチモア国際演劇祭」にて高い評価を得る。 帰国後「ママコ・ザ・マイムスタジオ」を設立。公演活動、後進の指導にあたる。 1990年、一時米山曼舞子に改名。 1993年、第12回芦原英子賞受賞。 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』『砂漠にコスモスは咲かない』)	『砂漠にコスモスは咲かない』(講談社、1977)	『砂漠にコスモスは咲かない』(奥付) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2011、p479) 『婦人公論』(1992年1月号、p114～) 『山梨日日新聞』(2002.7.7/4面「元氣甲州人」、2004.10.5/11面、2005.5.24/10面、2014.5.18/11面) 『毎日新聞』(1986.10.8夕刊、1面) 『朝日新聞』(1987.12.5、13面) 『東京新聞』(1990.2.15、16面) 『日本経済新聞』(1992.7.23、36面)	2014/12/12	身延